



第44期報告書

(2007年10月1日～2008年9月30日)

株主・投資家の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は「医薬品を通じて社会に貢献する」「企業の成長はそこに働く人々の成長に正比例する」を基本理念として掲げています。生命に直接関わる事業を営む企業として、「人の役に立つこと」を唯一の存在意義とし、そのためにわたしたち自身も成長していきたいと考えております。

当期におきましては、重点領域である産婦人科において、不妊症治療薬等従来の主力製品のシェア拡大を図るとともに、新薬「ルナベル[®]配合錠」(子宮内膜症に伴う月経困難症治療剤)の販売を開始しました。今後はジェネリック医薬品に限らず、新薬を含め競争優位の生存領域を確保・拡大し、積極的に成長路線への転換を図ってまいります。

引き続き、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努力してまいりますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

今井博文

社長自身や社員が思う「富士製薬らしさ」とは、一体どんなところなのでしょう。

富士製薬の社風や事業の独自性、また将来についてどのように考えているのか語っていただきました。

三橋：よくお客様や取引先の方々に「富士製薬さんってまじめだよ」と言われるのですが、私はこの言葉が当社のすべてを語っていると思います。

長縄：そうですね。私も研究開発の仕事に携わるなかでお客様や関係者の方々に、やはり「まじめだ」と言われます。とにかく何事にも一生懸命、積極的に取り組む姿勢を、高く評価していただいています。

社長：そういう姿勢は、当社に長年受け継がれてきたものですから、大事にしていきたいですね。

長縄：それから、若い人たちにもチャンスや責任ある仕事を与えてくれるのも当社らしさだといえるでしょうね。それが社員の成長につながっている。

久徳：同感です。責任ある仕事を与えられることで、社員が自らチャレンジしていきますし、仕事を通じて能力だけでなく人としての成長を図るという社内風土がありますね。

社長：ええ。経営理念にもあるとおり、会社活動を通じて人を育成することが、最終的に社会貢献につながると思っています。終身雇用は重視しています



が、決して年功序列ではなく、若い世代でも能力や意欲がある人には、積極的に活躍の場や機会を持ってもらうことを大切にしています。



「まじめだよね」という
お客様の言葉がすべてを
語っていると思います

執行役員
マーケティング部
マーケティング企画グループ マネージャー
三橋 厚弥

三橋：役員、上司とも特別な隔たりがなく、気軽に話し合えるところも当社らしいですね。コミュニケーションが円滑なところがとてもいいと感じます。

久徳：社長は時間がある限り社員と多く接しています。私も仕事の話はもちろん、時には趣味や家族の話なども気軽に話しています。社員同士も部署や立場を超えて話し合える雰囲気がある。これは企業の規模に関わらず意外とむずかしいことではないかと思います。

長縄：社長が社長室ではなく、同じフロアにおられますし、非常に話し掛けやすい。みんな近くにいるので、伝えるべきことを肌で感じられるのがいいですね。

社長：社員に対しては大事な家族というか、仲間のような意識が強いですね。仕事だけではなく、一緒に旅行に行ったり、スポーツをしたり、飲みに行ったりというコミュニケーションを大切にしています。

久徳：事業における独自性といえば、特定の分野に集中してきた点が挙げられます。ホルモン剤をはじめとする産婦人科領域や、尿路・血管造影剤といった放射線科領域の製剤など、他社が手掛けにくい、難易度の高い分野に積極的にチャレンジしてきました。それが当社の独自性だと思います。

長縄：私が入社した頃にすでに産婦人科領域に特化していたと記憶しています。また、ホルモン剤などの注射剤、錠剤の開発に取り組んでいますよね。そうした選択と集中がしっかりと出来ているからこそ独自性が明確になっているのだと思います。



伝えるべきことを肌で
感じられるのがいいで
すね

執行役員
研究開発部 マネージャー
長縄 正之

特定の分野に集中してきた点が、当社らしさでしょうか

内部監査室 マネージャー
久徳 正尊



三橋：そうですね。他社が手掛けないものを手掛け、徹底するというのが、昔から変わらないわたしたちのテーマであり、今後も大事にしていかなければならないことではないでしょうか。また、先代や今井社長のしっかりとしたリーダーシップのもと、他社に先駆けてジェネリック医薬品を手掛け、その中でも産婦人科領域と病院市場向けの注射剤に特化したということ、それも早い段階で手掛けたということは非常に特殊で、当社にとってとても有利なことだと思います。



社長：確かにジェネリック医薬品を扱うのがわたしたちの特色といえますが、広く手掛けるよりも、分野を絞ってできるだけその分野の先生方と密に仕事をすることを大事にしてきましたし、今後もそうしたいですね。ジェネリック医薬品の市場自体は今後も大きく伸びると思いますが、いたずらに範囲を広げるのではなく、さらに深化させていきたいと思っています。

三橋：取引先から「富士製薬さんはいい意味で変わっているね」と言われますが、今後もそう言われ続けるといいなと思います。

さらに独自性を高めていきたいですね

代表取締役社長
今井 博文



社長：そうですね。わたしたちは他社にはない価値を提供できるメーカーですし、DDS製剤やルナベル®配合錠などにもそれが活かされています。今後もやりがいのある分野・テーマを積極的に具体化し、さらに独自性を高めていきたいですね。

全社的な合同研修を実施

当社では「人の成長＝企業の成長」の経営理念に基づいて、人材育成、スキルアップ、能力開発などを目的に、全社的な合同研修を毎年春と秋の2回開催しております。直近では9月30日～10月4日の5日間にわたり開催し、社内の昇格審査や社外講師による管理者向けの研修、DIPS（営業部門の生産性向上手法）活動やTQC（工場・管理間接部門における総合的品質管理への取組み）活動の成果発表会を実施し、それぞれの部門の取組み状況について情報共有を行いました。

最終日には、社長をはじめ各部門の責任者による方針発表を行い、全社としての目標、各部門としての目標を共有するとともに、慶應義塾大学大学院の教授をお招きして組織の自律性に関する有意義なお話をしていただき、各自の意識向上を図りました。

また、社員交流と運動不足解消のためのレクリエーションや合同研修の打ち上げを兼ねた懇親会も行い、普段顔を合わせる機会の少ない社員同士の親睦を深めました。



会場となったサンフォルテ



TQC発表会



楽しいひとときのレクリエーション



特集 子宮内膜症に伴う月経困難症治療剤「ルナベル®配合錠」販売開始

2008年7月より、子宮内膜症に伴う月経困難症治療剤「ルナベル®配合錠」の販売を開始しました。本製剤は、国内において初めて「子宮内膜症に伴う月経困難症」の適応を取得した治療用低用量ピルで、ノーベルファーマ株式会社が同年4月に製造販売承認を取得した後、同年6月に薬価が記載されております。

子宮内膜症を患っておられる多くの患者さんが、月経困難症に悩んでおられます。欧米では、「子宮内膜症に伴う月経困難症」の治療に低用量ピルが広く使われていますが、「ルナベル®配合錠」は、子宮内膜症患者さんの月経時の疼痛改善の効果が認められ、日本で初めて本適応を取得した新医薬品です。

当社といたしましては、本製剤の販売を通じて、本疾患でお悩みの多くの女性のQOL (Quality of Life) 向上にお

役に立つことができるものと大いに期待しております。

発売にあたり、当社では製品の特徴、有効性と安全性に関する情報提供を行う目的で、医師・薬剤師対象の記念講演会を行ったほか、プレスセミナー、産婦人科医を対象とするランチョンセミナーなども実施し、同製剤の浸透に努めております。



婦人科マスコットキャラクター

コラム..... 生理痛の情報サイト「生理痛情報ナビ」を開設しました



多くの女性がわずらわされる生理痛は、婦人科系の病気の重要なサインでもあります。当社では、つらい生理痛に悩む多くの女性やパートナーである男性向けに、情報サイト「生理痛情報ナビ」を開設しました。生理痛の原因や症状に関するわかりやすい解説、年代・生活スタイル別の対処方法、日常生活における工夫、治療方法などのアドバイスのほか、都道府県別の病院検索や、役立つ書籍なども紹介しています。ぜひお役立てください。

<http://seiritsuu-navi.com/>

財務諸表 (要約)

貸借対照表

(単位：千円)

科目	第44期 (2008年9月30日現在)	第43期 (2007年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	13,212,222	12,761,268
現金及び預金	2,275,671	2,940,649
受取手形	746,777	702,142
売掛金	5,544,478	4,749,850
有価証券	705,481	702,702
たな卸資産	3,280,308	3,116,637
その他	661,391	550,922
貸倒引当金	△1,887	△1,635
固定資産	7,142,892	6,449,818
有形固定資産	4,242,558	4,216,550
建物及び構築物	2,655,076	2,643,501
機械及び装置	849,886	809,295
土地	527,658	483,721
その他	209,937	280,033
無形固定資産	1,372,300	590,439
販売権	1,298,000	534,500
その他	74,300	55,939
投資その他の資産	1,528,033	1,642,827
投資有価証券	148,090	157,279
差入保証金	542,273	499,580
その他	837,668	985,967
資産合計	20,355,114	19,211,087

(単位：千円)

科目	第44期 (2008年9月30日現在)	第43期 (2007年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	4,639,283	4,502,606
支払手形	443,407	296,634
買掛金	2,237,412	2,128,212
未払金	774,481	566,835
未払費用	186,185	179,977
未払法人税等	358,299	584,486
未払消費税等	27,237	121,356
預り金	13,611	11,166
賞与引当金	571,135	575,086
役員賞与引当金	15,600	17,300
返品調整引当金	11,913	8,890
設備支払手形	—	12,661
固定負債	744,041	699,816
受入保証金	212,450	211,972
退職給付引当金	461,802	410,733
役員退職慰労引当金	—	77,110
長期未払金	69,788	—
負債合計	5,383,325	5,202,423
純資産の部		
株主資本	14,971,222	14,002,647
資本金	1,616,950	1,616,950
資本剰余金	2,841,587	2,841,587
利益剰余金	10,512,692	9,544,117
自己株式	△7	△7
評価・換算差額等	567	6,016
その他有価証券評価差額金	567	6,016
純資産合計	14,971,789	14,008,663
負債・純資産合計	20,355,114	19,211,087

損益計算書

(単位：千円)

科目	第44期 (2007年10月1日～ 2008年9月30日)	第43期 (2006年10月1日～ 2007年9月30日)
売上高	14,937,516	13,250,520
売上原価	8,468,371	7,296,578
売上総利益	6,469,145	5,953,941
販売費及び一般管理費	4,403,055	3,850,612
営業利益	2,066,089	2,103,329
営業外収益	33,111	36,546
営業外費用	12,208	10,763
経常利益	2,086,993	2,129,112
特別損失	56,964	140,441
税引前当期純利益	2,030,028	1,988,670
法人税、住民税及び事業税	776,562	865,859
法人税等調整額	1,751	△70,767
当期純利益	1,251,714	1,193,579

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第44期 (2007年10月1日～ 2008年9月30日)	第43期 (2006年10月1日～ 2007年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	952,631	1,659,052
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,331,338	△94,066
財務活動による キャッシュ・フロー	△283,492	△179,984
現金及び現金同等物の 増加額 (△は減少額)	△662,199	1,385,002
現金及び現金同等物の 期首残高	3,643,351	2,258,349
現金及び現金同等物の 期末残高	2,981,152	3,643,351

株主資本等変動計算書 第44期 (2007年10月1日～2008年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金							利益剰余金 合計
						別途 積立金	繰越利益 剰余金						
2007年9月30日残高	1,616,950	2,226,020	615,567	2,841,587	164,079	5,000,000	4,380,038	9,544,117	△7	14,002,647	6,016	6,016	14,008,663
当事業年度中の変動額													
剰余金の配当							△283,139	△283,139		△283,139			△283,139
当期純利益							1,251,714	1,251,714		1,251,714			1,251,714
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)											△5,449	△5,449	△5,449
当事業年度中の 変動額合計	—	—	—	—	—	—	968,574	968,574	—	968,574	△5,449	△5,449	963,125
2008年9月30日残高	1,616,950	2,226,020	615,567	2,841,587	164,079	5,000,000	5,348,613	10,512,692	△7	14,971,222	567	567	14,971,789

●株式等の状況

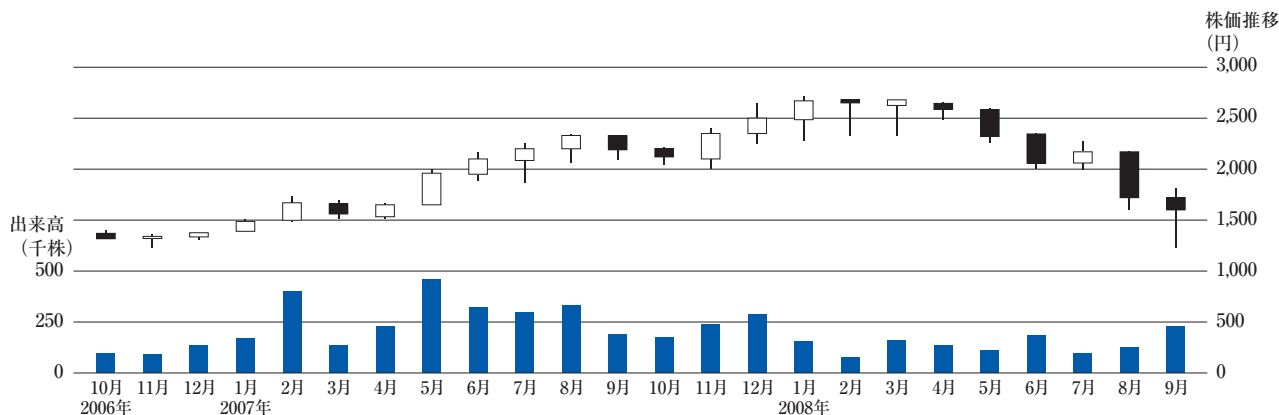
発行可能株式総数	28,220,000株
発行済株式総数	12,870,000株
株主数	1,443名

●大株主

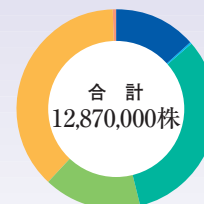
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
今井 博文	2,025,000	15.7
三井物産株式会社	1,930,600	15.0
有限会社FJプランニング	1,925,000	15.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	726,000	5.6
今井 道子	639,000	5.0
新井 規子	620,000	4.8
ビービーエイチ ポストン ハートランド バリュアー ファンド インク	455,300	3.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	437,800	3.4
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー リ フィデリティファンズ	260,900	2.0
富士製薬工業株式会社 従業員持株会	200,690	1.6

●株価・出来高の推移

上場証券取引所 ジャスダック証券取引所 (銘柄コード: 4554)

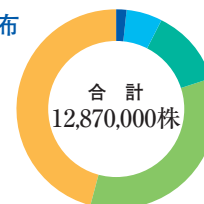


●所有者別株式分布



金融機関	1,737,000株	13.50%
証券会社	53,946株	0.42%
その他の法人	4,173,400株	32.43%
外国法人等	2,043,000株	15.87%
個人その他	4,862,644株	37.78%
自己名義株式	10株	0.00%

●所有株数別株式分布



1,000株未満	217,010株	1.69%
1,000株以上10,000株未満	759,000株	5.90%
10,000株以上100,000株未満	1,612,000株	12.52%
100,000株以上1,000,000株未満	4,401,390株	34.20%
1,000,000株以上	5,880,600株	45.69%

●会社概要

会社名 富士製薬工業株式会社 (Fuji Pharma Co., Ltd.)
所在地 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番19号
設立 1965年4月
資本金 16億1,695万円
事業内容 医療用医薬品の開発・製造・販売
 (注射剤、内用剤、外用剤、診断薬)

役 員	代表取締役社長	今井 博文
	取 締 役	下堀 穂積
	取 締 役	広見 覚
	取 締 役	上出 豊幸
	取 締 役	小沢 伊弘
	取 締 役	内田 正行
	常 勤 監 査 役	中村 稔
	監 査 役	三村 藤明
	監 査 役	佐藤 明

(2008年12月20日現在)

社 員 数 434名

●事業所

富山工場・研究所
 〒939-3515 富山市水橋辻ヶ堂1515番地
 TEL: 076-479-9000 FAX: 076-478-3565

札幌支店
 〒003-0023 札幌市白石区南郷通8丁目北2番25号
 TEL: 011-861-7607 FAX: 011-861-7637

仙台支店
 〒983-0047 仙台市宮城野区銀杏町34番25号
 TEL: 022-284-9818 FAX: 022-284-8976

東京支店
 〒102-0094 千代田区紀尾井町3番19号
 TEL: 03-3264-2211 FAX: 03-3264-2266

富山支店
 〒939-3524 富山市水橋伊勢屋280番地
 TEL: 076-478-3571 FAX: 076-479-1199

名古屋支店
 〒465-0042 名古屋市名東区照が丘59番地
 TEL: 052-778-1801 FAX: 052-778-1803

大阪支店
 〒564-0053 吹田市江の木町30番27号
 TEL: 06-6368-2860 FAX: 06-6368-2867

福岡支店
 〒814-0003 福岡市早良区城西1丁目8番36号
 TEL: 092-851-5752 FAX: 092-851-5759

滋養強書 ～富士製薬工業の回顧録～

本郷 茂 (元・取締役、1969年入社)

個人・家庭・会社の三位一体の関係

1978年頃から、東京での新卒採用の応募者が急増しましたが、当時の入社試験では「父親について」というタイトルの作文が課題になっていました。

「家庭は人格形成の最初のベースであり、父親をどう見るかを会社にあてはめれば、上司や社長をどう見るかにつながる」というのが創業者・今井精一会長の考えでした。片親しかいない応募者からは反発も受けましたが、「片親が問題な

のではなく、本人が父親不在の事実をどのように受け止め、どう生きてきたのか」を含め、その人の父親観・母親観を学校の成績より重視していたのです。

現在もわが社では、社員個人、その家庭、会社を三位一体の関係と捉え、家庭を重要な要素と位置付けています。家庭生活が安定し充実していることが、落ち着いて仕事をする基盤になるという考えからです。

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日
	期末配当金 毎年9月30日
	中間配当金 毎年3月31日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
	(郵便物送付先)
	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
	(電話照会先)
	住所変更等用紙のご請求 ☎0120-175-417 その他のご照会 ☎0120-176-417
	(インターネットホームページ URL) http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
上場証券取引所	ジャスダック 証券取引所

●株券電子化後の株式に関するお届出先およびご照会先について

平成21年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更等のお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたします。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

●株券電子化前後の単元未満株式の買取請求のお取扱いについて

<買取請求> 特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日(平成21年1月5日)から平成21年1月25日まで、受付を停止いたします。また、平成20年12月25日から30日までにご請求をいただいた場合は、代金のお支払は平成21年1月26日以降となります。

※単元未満株式について「ほふり」を利用されている株主様につきましては、上記取扱と異なりますので、お取引の証券会社へお問い合わせください。

富士製薬工業株式会社

○IRに関するお問い合わせ

本社/管理部
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番19号
TEL: 03-3556-3344 FAX: 03-3556-4455

○当社IRサイトをご活用ください。

当社ホームページでは、経営計画や決算情報等を掲載しております。ぜひご活用ください。

<http://www.fujipharma.jp/>

